



## 一緒に新型コロナウイルスとの闘いに勝ちましょう。

いつもありがとうございます。3月2日から「新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために」ということで、国からの要請もあって学校の休校が突然行われました。予定の変更や見通しがつかないとパニックになる子どもたちが多くおられると思います。誰もが、これほど「新型コロナウイルスの脅威」に脅かされるとは当初は想定されておられなかったでしょう。多くの学校では、卒業式が挙行されることなく卒業となり、慌ただしい中でクラスのお友達とお別れすることになった子どもさんたちも多かったのではないのでしょうか？

4月に入り、感染者数が日を追うごとに増えている現状のもと、4月7日には感染拡大予防の史上初の緊急事態宣言が出され、外出等の自粛要請が続く中で、東京都では翌日の8日には感染者数が144人、9日には181人、そして大阪府でも一日の感染者数が92人と日々増え続けている状況です。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、場所によっては卒業式同様に入学式も大きく様変わりし、新1年生と保護者1名と教員のみで、在校生は参加しない形となり、いつもの春とはずいぶん異なる雰囲気。始業式は3密を防ぐために学年ごとに登校日を定めて行われているところもあるようです。



「お花見」も自粛となり、例年春到来を告げ咲き誇る満開の桜の花も心なしかちょっぴり淋しそうです。

わたし自身も「自分がかからない、大切な人を守る」との認識を持って、今まで以上に自分に出来ることを自覚して、入念な手洗いやせきエチケット、マスク着用等を心がけています。みんなでこのコロナウイルスとの闘いに勝ちましょう。

ハニー・ビーにとっても、わたしも経験したことのない事態ですが、ハニー・ビーをご利用下さっている利用者さんにご迷惑をかけないように考えていきます。今までも大切なことだとは思っていましたが「手洗い、うがい、咳エチケット」の感染予防、そして免疫力をつけること。「規則正しい生活」「栄養バランスの摂れた食事」や「湯船に入って身体を温める」「しっかり睡眠をとること」も大切ですね。どうぞ1日も早く新型コロナウイルスの感染拡大が終息しますようにと願っています。

今月もよろしくお願いたします。

### 3月の活動

- ① マイ児童デイサービスそね・はっとりでの活動3月ダイジェスト
- ② ハニー・ビー ジョブ 新しいお仕事、頑張っています (3/20)



### 今後の予定やお知らせ

- ① 第8期就労プログラムが4月から始まります (4/11)
- ② 今年のふれあい緑地フェスティバルは中止となりました (5/3)
- ③ 療育支援事業3事業、決定しました。



### あとがき 日常の有り難さ

#### 活動報告① マイ児童デイサービスそね・はっとりでの活動 3月ダイジェスト

曾根事業所では、毎年恒例の進級・卒業お祝い会をしました。新型コロナウイルスの感染拡大予防ということで、3月2日予期せぬ突然の学校休校となりましたが、いつもの手洗い、うがいを励行しながら検温から始まります。最初は検温を嫌がる様子もありましたが、動作も落ち着いてきました。

いつもの年とは違う雰囲気の中で、時間的にもゆったりとした進級・卒業お祝い会となりました。一人ひとりが、みんなの前で「楽しかったこと」や「抱負」を発表します。「みんなの前で発表することが恥ずかしい。」とな

かなか自分の思いが言えないそねっ子もいました。それでも指導員の方から質問をし答える形式にすると、すんなり答えてくれました。人前で発表することも、ずいぶん慣れて出来るようになってきました。さあ、学校でも頑張って発表してみてくださいね。



はっとりでは、「土曜日デいの修了式」をしました。土曜日デいでは、指導員が「マイっ子たちが体験値を積み重ねること」を目標に、色々なことが出来たらと考え、学習支援や公共交通機関を使ってのお出かけ、フラワーアレンジメント、音楽療法など、講師の招へいや調整をして「マイっ子たちのために」と奮闘してくれました。



音楽療法では、講師の宮田先生を中心に文字通りの「音を楽しむ」ことをさせていただき、フラワーアレンジメントでは、一昨年に引き続き、北川先生にお越しいただいて「生のお花を自分の感性で生ける」ことを体験しました。お花のアレンジメントに関しても、ご家庭での評判がとても高く、「うちの子が生けたのですか?信じられない!!」と感嘆、感心のお声が多数ありました。「うちの子は、興味が薄くて。」と言われることが多いですが、みんなと一緒に出来る環境であっ



たり、褒められたり認められることで、俄然やる気スイッチが入ることがあります。この経験を平日に開催している放課後等デイサービスにも繋げていきます。

【お問い合わせ マイ児童デイサービス 電話：06-6152-8991 FAX：06-16152-8992  
マイ児童デイサービスはっとり 電話：06-6868-9371 FAX：06-6868-9372】

## 活動報告② ハニー・ビー ジョブ 新しいお仕事、頑張っています。(3/20)



今月も色々なお仕事にチャレンジしています。日頃、皆さまの職場やご自宅に商品をお届けする宅配事業「ハ木屋」をはじめ、野菜の店頭販売、多肉植物や観葉植物の寄せ植え、オリジナルグッズの制作など多種多様なお仕事があります。

中でもアマゾンカムカムの「カムカムキャンディ」のお仕事はみんな大好き!!不良品のチェックから個数を数えて袋詰め、計量そして検品。しっかりと流れを理解して、みんなで取り組みます。

そして新たに、「腐葉土」の販売も始まりました。こちらは、体力が必要ですが、シャベルを持って腐葉土を集め、ふるいにかけて余分なものを除きます。このしんどいと思われる作業も人気があります。

また、ご紹介いただいた内職のお仕事もハニー・ビー ジョブでは、内容をお聞きして、「利用者さんが、どうしたらできるか」を考えて作業に臨みます。実際に、数が数えられなかったら、数が解る治具を作ります。ドライバーを使っての作業の折には、まず実際傍でやって見せてから、丁寧に説明をし理解を促し、利用者さんが安心して作業が出来るようにしています。「その人にあった仕事ではなく、みんなが取り組める仕事」が大事だと思っています。利用者さんには、覚えることが大変そうではありますが、色々な仕事に利用者さんも楽しそう。勿論、支援員も楽しくお仕事しています。



【お問い合わせ ハニー・ビー ジョブB型 電話：06-6398-9500 FAX：06-6398-9535】

## お知らせ① 第8期就労プログラムが4月から始まります(4/11)

新型コロナウイルスの感染拡大の予防がしばらく続いていくようですが、予定のプログラムを少々変更して第8期就労プログラムを開催します。今年度の目標は、「必ず、職場実習に1か所以上行ってみよう。」と思っています





した。しかしまだ「新型コロナウイルス」終息の影すら見えない昨今、どこまで達成出来るか判りませんが、昨年に行けなかった大阪府庁、毎年お世話になっている阪神友愛食品やハニー・ビー・ジョブなどでお仕事体験をしてもらいたいです。プログラムでは、どちらの企業に行っても大切だと言われる挨拶やお仕事をする上で必要な言葉と自己紹介を中心に、「言える」から「使える、自分のもの」に出来るようにしていきます。実際に、TPOに応じて使える様にならないと、叱差の時に言葉は出てきません。簡単なような事こそ、働くときには必要になるのです。

普段、はったりでのプログラムにも組み入れられていますが、「作業」こちら出来ることだけが目的ではなく、まずは指導員の話聞いて、理解をして（判らないところは聞く）、言われたとおりに進めることが大切なのです。スタンプを押すにしても、「右から左へ順に、同じ濃さで、真っすくに押す」ことが求められます。速さでも数をこなすことはこの次。今年度は、特に「意味や意義」をしっかりと伝えてプログラムを進めていきたいと思ひます。参加して下さるメンバーと一緒に、携わる指導員も熱が入ります。4月11日からどうぞよろしくお願いいたします。待っています。

【お問い合わせ マイ児童デイサービスはったり 電話：06-6868-9371 FAX：06-6868-9372】

### お知らせ② 今年のふれあい緑地フェスティバルは中止となりました（5/3）

5月3日開催が予定されていた豊中市主催の「ふれあい緑地フェスティバル2020」（豊中市朋路西町）は、4月3日開催の協議会において中止が決定されました。新型コロナウイルスの動向を気にしながら、これまで準備を進めてきましたが、緊急事態宣言が大阪府にも出たこともあり、今年の開催は見送られました。



ハニー・ビーとしても、本年度の開催中止は残念ではありますが、来年の「ふれあい緑地フェスティバル2021」では、「焼きそば屋さん（焼きそば・おにぎりを販売）」や「りんごジャム・ジュース」そして「ハニー・ビー・ジョブの雑貨屋さん（スイーツマグネット・観葉植物など）」とちびっ子たちに大好評の「さかなつり」を出店したいと思ひています。皆さま、来年春にお会いできるのを楽しみにしております。

また、11月にはなりますが、「第9回みんなでワイワイさんあいイベント」も開催する予定としています。その頃には、新型コロナウイルス感染症も終息して、みんなで楽しく交流が出来ればと願っています。

【お問い合わせ ハニー・ビー ジョブB型 電話：06-6398-9500 FAX：06-6398-9535】

### お知らせ③ 療育支援事業3事業、決定しました。ご予約ください

2020年度の最初の保護者交流会は、辻 由起子先生の講演会として開催は決定しています。ただ、今現在「新型コロナウイルスの感染拡大」の影響もあり、開催日までに開催場所である中央公民館にもうかがってみましたが、「5月6日の状況を見ての判断」となりそうです。（皆さんに、ご参加いただきたい気持ちは、大いにあるのですが・・・）決まり次第お伝えいたします。児童虐待、障害者虐待、普通救命、権利擁護など、皆さんと一緒に考えていきたい、学んでいきたいと思ひています。



例年ハニー・ビーの主催行事として開催しています療育支援3事業について、独立行政法人国立青少年教育振興機構の令和2年度「子どもゆめ基金一体験活動一」助成事業として、4月1日付で決定されました。3事業のうち、まず「第4回サポートが必要な子どもたちとの料理教室」が、5月23日（土）～11月28日（土）の間で原則毎月第4土曜日に6回開催する予定です。各回のメニューも決まり、料理ボランティアさんも張り切っています。

「第11回サポートが必要な子どもたちとの宿泊体験」については、7月25日（土）26日（日）の1泊2日で、恒例の南あわじ市のじゃのひれリゾートで開催し



ます。調理体験やさかな釣り体験をサポートの皆さんと一緒にしましょう。こちら準備が整い次第、チラシやポスターなどで広報します。

3つ目の療育事業であります「第9回みんなでワイワイさんあいイベント」は、11月8日(日)に豊中市朋部西町ふれあい緑地の芝生広場をお借りして「障害のある人もない人も、であい・しりあい・わかりあい」の3つの『あい』を持ってのイベントとなります。いずれも豊中市、豊中市教育委員会の後援をいただいている開催です。どうぞ、その時までには新型コロナウイルス感染症が終息していますようにと願うばかりです。

【お問い合わせ 事務局06-6152-7389 FAX06-6152-7348

マイ児童デイサービス 電話:06-6152-8991 FAX:06-6152-8992

マイ児童デイサービスはっとり 電話:06-6868-9371 FAX:06-6868-9372】

## あともぎ 日常の有り難さ

いつも最後までご拝読いただきありがとうございます。

3月2日からの臨時休校があり、今回「緊急事態宣言」が発令されたことによって、日常の何気ない当たり前が、有り難いものだと実感しています。

今まで余暇支援としてヘルパーさんと一緒に楽しくお出かけしていたカラオケ、映画館、体育施設、イベントなどに自粛要請があり閉鎖されている施設が増え、ご利用に関しても出かける場所がないという事態になっています。

各学校においても、国において緊急事態宣言が発令されたことを受けて、大阪府より緊急事態措置として、豊中市教育委員会へも要請があり4月8日(水)から5月6日(水)まで臨時休校が延長されました。4月8日(水)以降の入学式等は延期され、登校日は当面の間実施しないということが決められました。また、臨時休校期間中の過ごし方としては、お子様の健康、安全のため、感染予防に努めながら屋外で適度な運動をしたり散歩をしたりすることは差し支えないとのことでした。

わたしたちも最善の対策を講じて、原則受け入れてサービスを提供するという社会的な責任を持って開所していますが、今まで経験したことのない状況に戸惑いながらも「3つの密」を避けましょうと、①換気の悪い密閉空間 ②多数が集まる密集空間 ③間近で会話や発声をする密接空間が重ならないように、最新の情報を共有しながら工夫をしています。

今回の新型コロナウイルス感染症をはじめ、これまで私たちの周りでは大きな地震や台風による生命・身体・生活に大きな犠牲を伴う多大な被害がもたらされ、多くの方が想像以上の辛い思いをされてこられたことを思うとこうした事態が無事に越したことはないと感じますが、また一方こうした事態に遭遇すると、「日常の有り難さ」を痛感し、一日でも早く日々の生活を取り戻したいと願うのは、わたしだけでしょうか。

わたしたち福祉サービスを提供させていただいている事業者にとっても、利用をいただくうえで「日々をどう過ごすか」という方策を考える時間をいただいているのだと思うようにしています。それぞれの支援事業を進めていく中でも、色々と考えさせていただける場面があります。



この春小学校への入学を前に放課後等デイサービスを利用する子どもたちは、毎年4月1日から放デイの利用が始まる、学校に行く前に放デイでの利用が新学期のスタートとなります。ご本人だけでなく、保護者の方にとっても学校がまだ落ち着かない中での学校生活が始まったこともあって、ご不安もあろうかと思えます。少しでもそのご不安が解消されるように指導員一同、努めてまいります。

支援学校を卒業されたばかりのハニー・ビー ショップB型をご利用の場合も同じ気持ちです。また、今年度の3つの療育事業も、助成をいただいている開催するメドがつかまりました。取り敢えず、すべての事業に全力で取り組む姿勢であります。しかしながら開催に向けてクリアしないといけない問題も沢山あります。

今、「それぞれが8割の自粛」に心掛けることで、世の中のオーバーシュートを回避することになると信じて、自分にできることをしましょう。

【川木 みどり記】